

令和 2 年度 多摩市立図書館事業計画

1 基礎的活動の現状

貸出、予約、相談の推移

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年 度	令和元(平成 31)年度
貸出者数	675,723	670,383	664,738	656,261	617,845
貸出点数	1,718,820	1,696,104	1,671,787	1,626,112	1,537,505
利用者数	36,524	35,571	34,370	33,751	32,055
新規登録者数	6,147	5,430	5,109	4,726	4,157
新規登録比率	17%	15%	15%	14%	12%
予約・リクエスト件数	480,790	473,974	474,213	468,151	458,731
WebOPAC 受付件数	339,671	340,554	347,906	348,019	346,107
Web 予約比率	71%	72%	73%	74%	75%
相談受付件数	60,060	64,699	70,252	77,175	75,650

貸出者数…貸出を利用した人の延べ人数
貸出点数…貸出されたすべての資料の数（図書、雑誌、ＣＤ等）
利用者数…各年度内に貸出実績がある利用者の数
新規登録者…各年度内に新規登録した利用者の数
新規登録比率…利用者に対する新規登録者の割合
予約・リクエスト件数…予約とリクエスト件数（図書館窓口、館内 OPAC、WebOPAC の合計）
注）予約は所蔵している資料への申込み、リクエストは未所蔵資料への申込み
WebOPAC 受付件数…パソコンや携帯電話などから受け付けた予約・リクエスト件数
Web 予約比率…予約・リクエスト件数のうち WebOPAC から申し込まれたものの割合
※令和元年度については、3 月の実績が確定した段階で数値を入れ替える

2 多摩市読書活動振興計画に基づく重点事業

基本目標（1）だれもが使える図書館

取り組み	令和 2 年度事業計画	具体的な取り組み
1 より利用しやすくするための配慮（乳幼児を連れた保護者への配慮） 書架配置を工夫する等により、乳幼児を連れた保護者が利用しやすい環境をつくる。 未利用者を視野に入れた、講演会、講座等を開催する	● 乳幼児を連れた保護者が利用しやすい環境を各館ごとに実情に合わせて検討し、実施する。【継続】 ● 子育てに関する資料や情報の充実を図る。【継続】 ● 図書館を利用していない市民へ働きかけるため、講座等のイベントを実施するとともに、周知のための P R は図書館ホームページだけでなく多様な手段でおこなう。【継続】	➤ ベビーカー利用や授乳、おむつ交換ができる場所の案内を掲示し利用しやすい環境を作る。【サービス係・各館】 ➤ 子育て支援コーナーの資料を充実させる【関戸】 ➤ プレママ・プレパパへの取り組みを検討し実施する。【永山】 ➤ 市民を対象にした主催講座の実施【子ども読書】 ➤ 図書館利用案内や障がい者サービスの利用案内を市民課や障害福祉課等での配布について調整し、図書館に来館しない市民に P R する。【企画運営・永山】 ➤ 主催イベントなどの広報を図書館ホームページだけでなく、多摩市公式ホームページやニュースリリース、市内掲示板などを活用し広く P R する【各館・係】 ➤ 各課と連携し、各課が実施する講演会会場な

	● 障がい者サービス利用登録をPRし、利用促進を図る【永山】【新規】 ● マルチメディアデイジーの利用促進を図る【永山・子ども読書支援係・企画運営担当】【新規】	どで関連本の展示の他、ブックリストやパスファインダーを設置し、図書館をPRする【各館・係】 ➤ 乳幼児の利用者登録を促すため、乳幼児を連れた保護者が利用者登録を希望される際に登録を促す【サービス係・各館】 ➤ 障がい者サービスの利用案内を障害福祉課等への設置を調整することにより、障がい者サービス未利用者にサービス内容をPRし、利用登録を促す【永山】 ➤ サービス内容の見直しに合わせ利用案内をリニューアルする【永山】 ➤ 利用促進を図るため多摩市立図書館障がい者等サービス事業実施要綱」を改正する【永山】 ➤ マルチメディアデイジーの貸出に関するシステムを見直し、対象者が利用しやすい環境をつくる【永山・企画運営】 ➤ マルチメディアデイジーを「ふじゆうってなにコーナー」や図書館ホームページでPRする【永山】
2 若年世代の利用促進 若年世代（10代後半から20代）の利用を促進するための取り組みを実施する。	● 図書館ホームページの「ティーンズのページ」の情報充実を図る。【継続】 ● 多様な手段、場所での広報活動の実施。イベントの案内の配布先を市内学校（公立、私立）、児童館など幅広く行う。【継続】 ● ティーンズ向けの展示の工夫（継続）【子ども読書支援係、各館】【継続】 ● 中高生参加型、学校連携、他校の生徒との交流ができるイベントを検討する。【子ども読書支援係・企画運営】【継続・新規】	➤ ティーンズ向けの展示や図書館主催イベントのお知らせを「ティーンズのページ」にも掲載する【各館・係】 ➤ イベントなどの情報を図書館ホームページだけでなく、多摩市公式ホームページや掲示板、公式ツイッターなどを活用する【各館・係】 ➤ 図書館ホームページにある「ティーンズのページ」の「Pickup」の活用、「イベント・企画展示」の充実を図る。【子ども読書・各館】 ➤ 子ども読書まつりの講演会を「ティーンズのページ」に掲載するなどして中高生に向けてPRする【子ども読書】 ➤ 学校へ「学校図書館だより」に「多摩市立図書館からのお知らせ」の掲載を依頼し、図書館の活動をPRする。【子ども読書】 ➤ ティーンズに合った雑誌の配架場所を、ティーンズコーナー寄りに集中させる【永山】 ➤ ティーンズ向けの展示の工夫（継続）【子ども読書支援係、各館】 ➤ 職場体験等の場を活かし、生徒にティーンズコーナーの企画展示を体験してもらうなどによりティーンズコーナーの充実を図る。体験してもらうことにより、図書館利用への関心を高める【永山】 ➤ 中高生対象のビブリオバトルを開催する【企画運営】 ➤ 中高生参加型、学校連携、他校の生徒との交流ができるイベントを検討する【子ども読書】
3 多文化サービスの充実 他機関との連携による情報発信	● 国際交流センターとの連携により、外国人に向けて図書館利用につながるような図書館情報を発	➤ 国際交流センターが発行する広報誌にすす

や日本語学習資料、外国語資料を増やすことで、多文化サービスの充実につなげる。	信する。【継続】 ● 外国語資料、外国語学習資料の充実を図り、利用促進に向けてPRする【継続】 ● 外国語資料の目録作成マニュアルの見直しを行う【企画運営】【新規】	営・子ども読書支援係】 ➤ 多読に適した英語学習資料を購入する【企画運営】 ➤ 多言語に翻訳された日本の絵本などを購入する【企画運営】 ➤ 学校、児童、生徒、保護者へ向けて新規に所蔵した資料のPRをする。【子ども読書支援係】 ➤ 英語以外の言語の資料にも対応できるように目録作成マニュアルを見直す【企画運営】
--	--	--

基本目標（2）子どもへのサービスの充実

取り組み	令和2年度事業計画	具体的な取り組み
4 多摩市子どもの読書活動推進計画の推進(第三次子どもの読書活動推進計画の推進) 第三次多摩市子どもの読書活動推進計画アクションプランに基づき、子どもへのサービスの充実に取り組む。	● 第三次多摩市子どもの読書活動推進計画に基づき各施策を推進する。また、計画期間の6年間の見渡した上で、令和2年度は次の推進事項について重点的に取り組む【継続】 ● ホームページの「子どものページ」「ティーンズのページ」「子どもの読書に関心のある方のページ」の充実。【子ども読書支援係、各館】【継続】 ● ブックリスト「よんでみよう！」の改訂をおこなう【子ども読書支援係】【新規】 ● 児童館等でおはなし会を開催し図書館のPRを行う。【継続・新規】 ● 学校図書館への支援と課題の検討【子ども読書支援係】【新規】 ● 支援の必要な子どもたちへの取り組みの推進【継続】 ● 団体貸出についてホームページでPRする【新規】 ● 外部講師による研修の実施【子ども読書支援係】【継続】	➤ 子ども向けやティーンズ向けの展示や図書館主催イベントのお知らせをそれぞれの対象別のページに掲載し、PRを図る【各館・係】 ➤ 「よんでみよう！」（1、2年生）の改訂をおこなう ➤ 児童館等出張おはなし会を開催し図書館のPRを行う。【子ども読書支援係】 ➤ 複合施設のおまつりなどを活用し図書館以外の場所でおはなし会を開催し図書館のPRを行う【各館】 ➤ 学校図書館への支援と課題の検討のために令和元年度に実施した学校の実態調査の結果をまとめ、全学校間での情報提供と支援方法について検討をする。【子ども読書支援係】 ➤ マルチメディアデイジーの貸出に関するシステムを見直し、対象者が利用しやすい環境をつくる【永山】 ➤ マルチメディアデイジーを「ふじゅうってなにコーナー」や図書館ホームページでPRする【永山】 ➤ 支援が必要な子ども達が利用できる資料を集めた棚を設置する。【各館】 ➤ 団体貸出制度についてホームページでPRする【企画運営担当】

基本目標（３）市民や地域に役立つ図書館

取り組み	令和２年度事業計画	具体的な取り組み
５ 読書活動に取り組む団体の支援 団体貸出制度の内容の充実に向けて検討し、読書活動に取り組む団体の支援につなげる。	● 学童クラブ、児童館の利用促進のため、団体貸出におけるセット貸出の実施及び内容の見直しをおこなう。【企画運営】【継続】	➤ 学童クラブ、児童館の利用促進のため、団体貸出におけるセット貸出を実施する。効果的な内容になるように利用後アンケートを実施し、内容の見直しをおこなう。【企画運営】
６ 読書活動振興のためのイベントの開催 イベントの開催を通して図書館に注目を集め、利用を促進する。	● 読書活動を広げるために市民参加型のイベントの内容の充実を図る。【各館・係】【継続】	➤ 市民参加型のイベントを検討する（一日図書館員、大人の図書館員体験、ぬいぐるみおとまり会他）【唐木田】 ➤ 大人から中高生まで様々な年代の方に楽しんでもらえるビブリオバトルを開催する。【企画運営・永山】 ➤ 中高生参加型、学校連携、他校の生徒との交流ができるイベントを検討する【子ども読書】
７ 読書活動に関心を高めるための事業の実施 事業の実施により、市民の読書活動の広がりをつくる。	● 新たな本との出会いの機会として各館で企画展示を実施する【継続】 ● 市民に読書活動に関心をもってもらうイベントを引き続き実施する【継続】 ● 市民による企画展示や本の紹介を実施する【継続】	➤ 新たな本との出会いの機会として各館で企画展示を実施する【サービス係・各館】 ➤ 福祉館の昼食会で高齢者向けのおはなし会を実施する（継続）【豊ヶ丘・東寺方】 ➤ 「本の福袋」を実施する【各館】 ➤ 子ども読書まつりのあり方の検討を引き続き行う【子ども読書支援係】 ➤ ビブリオバトルで紹介された本を図書館ホームページ、展示、タウンニュースで紹介し、市民の方が紹介する本の情報を発信することで読書に関心をもってもらう。【企画運営】 ➤ おはなし会団体におすすめの本を紹介してもらう展示を実施する【サービス係】
８ 地域資料の活用による地域文化の継承 地域資料への注目を集め、利用を促進する。	● 地域資料への関心を促すため、パルテノン多摩、教育振興課との連携による企画展示、講演会等を実施する【継続】 ● 地域資料・貴重資料等のデジタルアーカイブを構築し、公開する【地域資料係】【新規】	➤ パルテノン多摩、教育振興課との連携による企画展示、講演会等を実施する（継続）【地域資料係】

基本目標（４）しらべるを支え、つながる図書館

取り組み	令和２年度事業計画	具体的な取り組み
９ 地域課題解決の支援 各課連携展示、パスファインダーの作成・配布を通して、地域課題解決の支援を行う。	● 地域課題解決のため、関連する資料を積極的に収集し、各課と連携した企画展示を実施する【企画運営・各館】【継続】 ● 図書館ホームページ上での公開できるレファレンス事例の登録を進める【企画運営】【継続】	➤ 展示だけでなく、展示した資料のブックリストやパスファインダーを作成、配布するとともにホームページに掲載するなど情報発信をしていく。【各館・係】 ➤ 各課と連携し、各課が実施する講演会会場などで関連本の展示やブックリストやパスファインダーを設置し、図書館をPRする【企画運営担当・各館】
10 デジタル資料の提供 「しらべる」の充実のために、オンラインデータベースの利用促進、電子書籍サービスの導入について研究する。	● オンラインデータベースや国立国会図書館デジタル化送信サービスの利用促進を図る【企画運営・サービス係・各館】【継続】	➤ オンラインデータベースの市民向け講習会の実施【企画運営】 ➤ 国立国会図書館デジタル化送信サービスの利用促進を図るため、日常的なレファレンスで積極的に市民に紹介する【サービス係・各館】

	● 地域資料、貴重資料のデジタルアーカイブ一部公開（令和３年１月公開予定）に向けて、準備する。 【地域資料係】 【新規】	
--	--	--

基本目標（５）弾力的な管理・運営

取り組み	令和２年度事業計画	具体的な取り組み
11 本館の機能強化 図書館本館の再整備に向けて検討を進める。	● 図書館本館再整備基本計画や基本・実施設計に基づき中央図書館の整備事業に着実に取り組む【企画運営・本館再整備担当】【継続・新規】	➤ 実施設計を基に発注する建設工事各種の契約をまとめ、10月の着工を予定する。 ➤ 建設にあたって伐採する多摩中央公園の樹木の有効活用を計画し、実施する。 ➤ 「（仮称）中央図書館管理運営計画」の策定に向けて検討を行う。
12 図書館コンピュータシステムの見直しによるサービスの向上 資料検索等を充実し、レファレンス機能等を向上できるよう、図書館コンピュータシステムを見直す。⇒平成30年度図書館第Ⅴ期コンピュータシステム稼動。	● 図書館ホームページや利用者用端末の利用促進を図る【企画運営】【継続】	➤ 検索の仕方などについてホームページやチラシなどの案内がよりわかりやすいものとなるよう、必要に応じて見直しする【企画運営】
13 職員体制の見直し 新本館の開館を見据え、職員体制の見直しに取り組む。	● 専門性の向上のため課内研修を実施するとともに都立図書館などが開催する外部研修へ職員を派遣する。【企画運営】【継続】 ● 中央図書館開館に合わせて新たな図書館運営に必要な職員体制を検討する。【継続】	➤ 課内研修では、オンラインデータベースの利用研修、接遇研修、製本研修を実施する ➤ 外部研修では引き続きレファレンス研修や児童サービス、障がい者サービス担当者向けの研修に職員を派遣する ➤ 中央図書館及び関戸、永山図書館での新しい図書館運営、勤務形態で業務する従事者制度等の導入を検討する。
14 ボランティア活動の促進 ボランティア活動の推進に向け、対象者〈個人・団体〉、活動内容、ルールなどの枠組みについて検討する。	● 既存のボランティア活動以外にも活動分野を広げるための研究をおこなう。	
15 事業計画の策定と点検評価 よりよい図書館運営のため、事業計画を策定し評価を行う。	● 令和元年度事業計画の評価を実施するとともに平成30年度の評価方法を見直し、改善をはかる。	
16 ICTの活用 効率的な運営、利用者サービスの向上のために、ICTタグの導入に取り組む。	● 全蔵書にICTタグを貼付するとともにICTタグ関連機器を関戸・永山図書館に導入し、円滑な運用を行う。【企画運営】【継続・新規】 ● 国立国会図書館のデジタル化資料送信サービス、歴史的音源利用サービスの利用促進を図る【継続】	● 関戸・永山図書館におけるICTタグ関連機器の運用を10月から開始するため、システム開発業務と機器の導入に取り組む。【企画運営】 ● ICTタグ関連機器を設置するためのレイアウト変更や機器の操作に対応し、円滑に運用する。【関戸・永山】 ● ICタグ貼付作業と並行し引き続き蔵書の廃棄・保存検討を進める。【各館】 ● 国立国会図書館デジタル化送信サービスで提供されている情報を日常的なレファレンスで積極的に活用する
17 蔵書の適正管理 新本館を視野に入れ、限られた蔵書がより活用できるよう、蔵書の保全、適正な	● 中央図書館開館に向け、蔵書計画を策定するとともに、選書体制を整え、購入を計画的に進める。【企画運営】【継続】	➤ 企画運営担当、サービス係が協力し、中央図書館用図書を選書体制の確立、購入スケジュールを作成し、計画的に購入を進める【企画運営・サービス係】

管理に努める	● 蔵書の固定化について検討を進める【企画運営】 ● 中央図書館開館を視野に入れ、書庫を中心に蔵書の適正化を図る【企画運営】 ● 蔵書が適正に管理できるように貸出冊数を見直し、円滑に運用できるようにする【企画運営】	➤ 各図書館から中央図書館へ寄せてくる資料について具体的な方法やスケジュールを検討し、購入に反映させる【企画運営】 ➤ 一部固定化の模擬実験を実施し、課題等を検証する【企画運営】 ➤ 定期的に書庫の廃棄を実施する【企画運営】 ➤ 貸出冊数の上限の見直しを実施する（6 月施行）。円滑に運用できるように対象者に周知する【企画運営】
--------	---	---

参考資料
「多摩市読書活動振興計画」にある評価指標の平成 30 年度末における達成状況

基本目標（１）だれもが使える図書館

【評価指標】			
評価指標	平成 26 年度実績	平成 30 年度末実績	令和 2 度末の目標
0～5 才の利用率 （年度延べ貸出者数を年 齢別人口で割った数値）	0.79	0.66	1.0 以上
10 代後半と 20 代の利用率 （同上）	10 代後半：1.72 20 代：1.75	10 代後半：1.17 20 代：1.14	2.0 以上
外国語資料所蔵冊数	4,423 冊	4,470 冊	8,000 冊

基本目標（３）市民や地域に役立つ図書館

【評価指標】			
評価指標	平成 26 年度実績	平成 30 年度末実績	令和 2 年度末の目標
団体への貸出冊数及び提供 したリサイクル資料点数 （市内小中学校を除く）	15,506 冊（貸出冊数のみ）	16,826 冊（貸出冊数） 3,543 冊（リサイクル頒布）	18,000 冊 （平成 32 年度実績）
ビブリオバトル開催回数／ 参加者数	未実施	6 回／119 人 （平成 28 年～平成 30 年度の累 計）	10 回／200 人 （平成 28 年～令和 2 年度
市民による企画展示回数	未実施	1 回	1 回
デジタル化資料公開点数	未実施	未実施	100 点

基本目標（４）しらべるを支え、つながる図書館

【評価指標】			
評価指標	平成 26 年度実績	平成 30 年度末実績	令和 2 年度末の目標
多摩市立図書館ホームペー ジ上のレファレンス事例公 開件数	192 件	183 件（令和元年 1 月時点）	220 件

基本目標（５）弾力的な管理・運営

【評価指標】			
評価指標	平成 26 年度実績	平成 30 年度末実績	令和 2 年度末の目標
本館の開館時間の拡大	18 時まで	18 時まで	20 時まで
本館の開架冊数	11 万点	11 万点	25 万点
国立国会図書館の図書館向 けデジタル化資料送信サー ビス利用実績	未実施	0 件 平成 31 年 3 月導入	300 件 （導入から令和 2 年度末までの 累計）
図書館費に占める人件費率 （唐木田図書館の窓口業務 委託を含む）	約 80%	約 70%	75%
事業計画の策定と自己評価 の実施、公表	未実施	事業計画の策定、自己評価の 方法を検討、決定	毎年実施